

# 湖都大津・新水道ビジョン 令和2年度末の進捗状況

## 【重点実行計画】

平成28年3月に策定し、平成29年3月に一部改訂した湖都大津・新水道ビジョン（計画期間：平成28年度～令和10年度）について、令和2年度末の進捗状況を公表します。

進捗状況の算定根拠	
目標どおりに進捗 [ 実績 ÷ 目標 ≥ 95% ]	◎
目標にむけ、概ね進捗 [ 実績 ÷ 目標 ≥ 75% ]	○
目標を下回る [ 実績 ÷ 目標 < 75% ]	△

※減少する目標の場合は、実績と目標入れ替えて算定します。

### (1) 「安全で安心な湖都大津の水道」

目標項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	
水安全計画の 評価の実施率 (%) [ = 評価実施浄水場 ÷ 全浄水場数 ]	—	100	100	100	100	100	◎
		100	100	100	100	100	
水質基準不適合率 (%)	0	0	0	0	0	0	◎
		0	0	0	0	0	
鉛製給水管残存戸数 (戸)	11,087	9,454	8,780	8,091	7,393	6,600	○
		9,454	8,812	8,338	8,011	7,453	
鉛製給水管率 (%) 【A401】	8.1	6.7	6.2	5.7	5.2	4.8	◎
		6.7	6.2	5.8	5.5	5.0	

(2) 「**強靱**な湖都大津の水道」

目標項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	
浄水場数 (箇所)	6					6	◎
						6	
配水ブロックの構築数 (ブロック)	26 ※H27年度 見込み	30	34	38	42	46	△
		29	30	32	33	33	
浄水施設耐震化率 (%) 【B602】	2.8	2.8	2.8	2.8	23.0	23.0	◎
		2.8	2.8	2.8	2.8	23.0	
配水池耐震化率 (%) 【B604】	41.4	41.4	42.5	52.4	52.4	52.4	◎
		44.6	46.6	46.8	52.6	59.5	

  

目標項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	
管路の耐震化率 (%) 【B605】	26.2	27.3	27.8	28.3	28.7	29.2	◎
		27.8	28.7	29.7	30.4	31.0	
基幹管路の耐震化率 (%) 【B606】	30	31.4	32.3	33.2	34	34.7	◎
		31.4	32.1	32.3	33.6	34.9	
応急給水時の確保水量 (m3)	23,663					23,663	◎
						23,663	

【進捗状況△の理由及び対策】

配水ブロックの構築数について

定期洗管業務等の他の既存業務が増加したことなどにより、目標を達成できませんでしたが、今後は、令和2年度に設立された大規模洗管等連絡調整会議を活用し、他課との連携を行うこと等により目標の達成に向けて取り組みます。

(3) 「健全で**持続**可能な湖都大津の水道」

目標項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	
広報誌 「パイプライン」の 発行(年4回)	毎年度実施	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	◎
		年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	
お客様アンケート (需要家意識調査)の 実施	H19・22年度 に実施	-	-	-	令和元年度 実施	-	◎
		-	-	-	令和元年度 実施	-	
パブリックコメントの 実施	H19年度に 実施	-	-	-	-	令和2年度 実施	◎
		-	-	-	-	令和2年度 実施	
内部研修時間(時間) 【C203】 [職員が内部研修を受けた 時間×人数÷全職員数]	8.3	8.4	8.4	8.4	8.5	8.5	○
		7.6	7.2	8.5	9.3	7.1	
外部研修時間(時間) 【C202】 [職員が外部研修を受けた 時間×人数÷全職員数]	11.5	8.2	8.3	8.4	8.5	8.6	△
		8.1	8.8	12.0	16.2	0.9	

※「お客様アンケート」と「パブリックコメント」については、新水道ビジョン策定時の平成27年度に実施しました。

「大津市水道事業アセットマネジメント」については、令和3年度末以降の目標であるため記載を省略します。

【進捗状況△の理由及び対策】

外部研修時間について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、多くの外部研修が中止や延期又はwebによる開催となり、web受講が可能なものについては積極的に受講しましたが、参加できる外部研修自体が減少したことにより、目標を達成できませんでした。

目標項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	進捗 状況
		目標	目標	目標	目標	目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	
研究発表会等への年間 論文投稿数 (本/年あたり)	-	3	3	3	3	3	△
		3	3	3	4	0	
他水道事業者と共同で行 う研修・訓練の年間開催 回数(回/年)	1	2	2	2	2	2	△
		2	3	6	5	1	
1年間の全施設の電力 消費量(kwh)	21,992,998	21,900,000 以下	21,900,000 以下	21,900,000 以下	21,900,000 以下	21,900,000 以下	◎
		22,075,417	21,988,032	21,160,220	20,972,211	21,315,437	
配水量1m3あたりの電 力消費量(kwh/m3) 【B301】[ = 全施設での総 電力消費量 ÷ 年間配水量 ]	0.52	0.52以下	0.52以下	0.52以下	0.52以下	0.52以下	◎
		0.53	0.53	0.52	0.52	0.52	
浄水汚泥の有効利用率 (%) 【B305】 [ = 有効利用土量/浄水発生 土量) × 100 ]	100	100%の維持	100%の維持	100%の維持	100%の維持	100%の維持	◎
		100	100	100	100	100	
建設副産物のリサイクル 率 (%) 【B306】 [ = リサイクルされた 建設副産物量 ÷ 建設副産物排出量 × 100 ]	78.2	79.5	79.6	79.7	79.8	80.0	△
		79.5	79.2	77.7	81.2	53.2	
有収率 (%) 【B112】	92.2	92.2 → 93.2	92.4 → 93.4	92.6 → 93.6	92.8 → 93.8	93.0 → 94.0	◎
		94.4	94.3	95.0	95.1	95.3	

有収率については、実績の上昇により、29年度に28年度からの目標値の見直しを実施しました。

#### 【進捗状況△の理由及び対策】

##### 研究発表会等への年間論文投稿数について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、例年、公益社団法人日本水道協会が開催している水道研究発表会が中止となったことにより、当該発表会に論文を投稿することができず、目標を達成できませんでした。

##### 他水道事業者と共同で行う研修・訓練の年間開催回数について

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、他水道事業者と共同で行う研修を中止し、情報伝達訓練のみ行ったため、目標を達成できませんでした。

##### 建設副産物のリサイクル率について

当該年度に発生した建設発生土について、再利用に適さないものが多かったため、目標を達成できませんでした。

【その他】

(湖都大津・新水道ビジョンにおいて、重点実行計画の目標値としては掲載されていないが、実績報告のために記載するもの)

項目	H26年度末 (策定時)	H28年度末 実績	H29年度末 実績	H30年度末 実績	R元年度末 実績	R2年度末 実績
資金管理の効率化 (資金管理)	定期預金等 による運用	運用利益 4,112千円	運用利益 3,792千円	運用利益 3,168千円	運用利益 2,399千円	運用利益 2,599千円
資金管理の効率化 (資金調達)	企業債残高 226億円	新規借入 602百万円 償還 1,194百万円 企業債残高 215億円	新規借入 178百万円 償還 1,230百万円 企業債残高 205億円	新規借入 0百万円 償還 1,274百万円 企業債残高 192億円	新規借入 0百万円 償還 1,287百万円 企業債残高 179億円	新規借入 0百万円 償還 1,283百万円 企業債残高 166億円

※【 】内は、「水道事業ガイドライン」に基づく『業務指標』(PI)の指標No.です。